

# 菰野町を安全なまちに 交通安全作文 コンクール



四日市西警察署長賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞

菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞

菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞 菰野町交通安全協会賞

**交** 通安全を題材にした作文コンクールの入賞者7人の表彰式が、9月19日に役場本庁で行われ、菰野町長賞に選ばれた鈴木奏音さん（朝上小6年）が入賞者を代表して作品を発表しました。このコンクールは、夏休みを利用して町内の小中学生を対象に募集したもので、789人から作品が寄せられました。

**身近にひそむたくさんの危険**  
朝上小学校 6年 鈴木奏音

私は毎朝、7時30分に家を出ます。学校までの道のりは、約1キロですが、その中でも怖い思いをした事があります。

ある朝、横断歩道を渡るうとした時、歩行者側の信号が青になったにもかかわらず、いきなり猛スピードで車が突っ込んできたのです。幸い、私達は一歩み出した所ですぐに止まったため、事故に巻き込まれずに済んだのですが、もう少し渡るのが早ければ事故につながっていたのかも知れないと思うと、とてもゾッとしました。そして、しばらくの間、ドキドキが止まりませんでした。以前より母からは、「自分は気をつけているつもりでも、巻き込まれる事もあるのだから、信号が青になったとしても必ず左右確認は忘れないでね。」と言われていました。けれど、その時の私は、そんなこと言われなくてもわかっていて、軽く聞き流してしまいました。あの時、ちゃんと右左を確認していたら、あんなに怖い思いをしなくても済んだのだととても後悔しました。母の言っていた意味の大切さを身にしみて感じる事ができました。自分は大丈夫、巻き込まれることも今までなかったから大丈夫、といった過信が恥ずかしくなりました。

今年6年生になり、登校班の副班長としての責任も増え、自分自身はもろろんのこと、下級生の子たちの安全も特に考えるようになりました。自分が後悔したことを下級生の子たちにも伝えたいと思います。

私ができる範囲で、「はい、ここは止まるよ。とび出さないよ。右左確認してね。危ないよ。」などの声かけをしています。まだ春から一年生になったばかりの子たちは、こちらが注意することも多く、急に走り出したりするとヒヤリとさせられることも多々あります。その度に何度も同じことを言っていて、わかってもらえるように努力しています。1年生の子たちには、あの頃、母に言われた時の私のように、そんなこと言われなくても分かっているよと思われているかもしれないけれど、いつかきつと分かってくれると信じて、これからもみんなで安全に登校していきたいと思えます。

歩行者、自転車運転者、バイク運転者、ドライバーと、みんなそれぞれ立場は違いますが、それぞれ立場に合った注意をしていくことが大切だと思います。そして、私は大丈夫といった過信やちよつとした油断が事故を巻き起こしてしまつ危険性があるということに絶対に忘れてはいけなないと思います。私も毎日元気に行つてきますとたたいまが言えるように、自分の行動に責任を持ちたいです。

そして、最後に、毎朝見かける車のドライバーさんの中に、スマートフォンを操作しながら運転している方をよく見かけます。危ないので絶対にやめてください。どうか心と時間にゆとりを持って運転してください。お願いします。

受賞作品を発表する鈴木さん▶

## 入賞者の皆さん おめでとうございます

### 祭りの声

#### 湯の山に欠かせない祭り

僧兵まつりには小さい頃から20年以上、毎年参加しており、湯の山地域には欠かせない祭りです。火炎みこしは担いでいても熱く、御在所ロープウェイ会場までの上り坂が最も大変ですが、舞い散る火の粉に注意しながら絶対に運びます！



僧兵太鼓保存会  
おぎさこうた  
小笹幸多さん



3



1



2

1僧兵たちが迫力ある音色を響かせる僧兵太鼓  
2最後の力を振り絞り上り坂に臨む僧兵たち  
3ファイナーレで盛大に打ち上げられた花火

### 動

き出した火炎みこしは旧三重交通バス停前までのしばらくの区間、下り坂を進みます。時折、火炎みこしの炎を抑えるために水を浴びせながら、曲がり角や傾斜の強い坂に注意をして着実に進んでいきます。旧三重交通バス停前まで辿り着くと、御在所ロープウェイ会場までは急な上り坂が続きます。ここからが僧兵たちの正念場です。上り坂に差し掛かると僧兵たちはこれまで以上に額に汗を流し、苦悶の表情を浮かべながら上っていきます。時には火炎みこしの重量に耐えきれず、進行方向

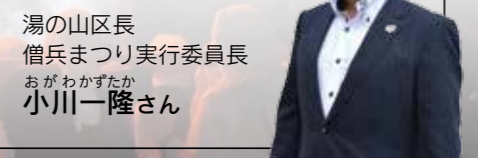


から逸れそうになることもあり、ますが一歩一歩上っていきます。ようやく御在所ロープウェイ会場までたどり着くと大勢の見学者たちが、間近で感じる火炎みこしの熱さと迫力に驚きながらも盛大な拍手で迎え、火炎みこしはその拍手にこたえ、火勢がピークに達し、燃え盛る炎は太陽のように明るく会場を照らします。見学者の出迎えにこたえ、火炎みこしは役目を終え、熱さと重さから解放された瞬間、僧兵たちは清々しい表情を浮かべていました。火炎みこしの到着を祝うかのように花火が打ち上げられ、50回目の炎の祭典が今年も無事に終わりました。

### 祭りの声

#### 祭りを継続するために

僧兵まつりは、他に類をみない県下最大の炎の祭りです。松明作りなど準備は開催1か月前から始まりますが、この祭りを継続するために安全確保に気を配りながら、毎年、開催できるよう努めています。



湯の山区長  
僧兵まつり実行委員長  
おがわかずたか  
小川一隆さん

来年へとつながる消えない炎